

3. 平成 29 (2017) 年度及び平成 30 (2018) 年度センダン植栽地における現地調査及び下刈り等の実証調査

(1) 目的

平成 29 (2017) 年度、熊本県天草市、宮崎県宮崎市の 2 箇所、平成 30 (2018) 年度、愛知県豊田市の 1 箇所の合計 3 箇所に植栽されたセンダン (表 3-1、図 3-1) について、植栽後の生育状況等について調査を行い、得られた結果を評価し、これからの早生樹導入に向けたガイドライン作成に必要な情報を整理する。

表 3-1 平成 29 (2017) 年度及び平成 30 (2018) 年度センダン実証植栽地一覧

No.	植栽年度	場所	実施事業体	苗齢 (年生)	植栽密度 (本/ha)	植栽面積 (ha)	植栽本数 (本)	備考	
1	H30 (2018)	愛知県豊田市	豊田森林組合	1	400	0.42	168	熊本県より苗木を入手	
2	H29 (2017)	熊本県天草市	祐翔開発	1	400	0.16	56	105	"
					200	0.29			
3	"	宮崎県宮崎市	宮崎地区国有林事業協同組合	1	400	0.29	100	160	"
					200	0.25			

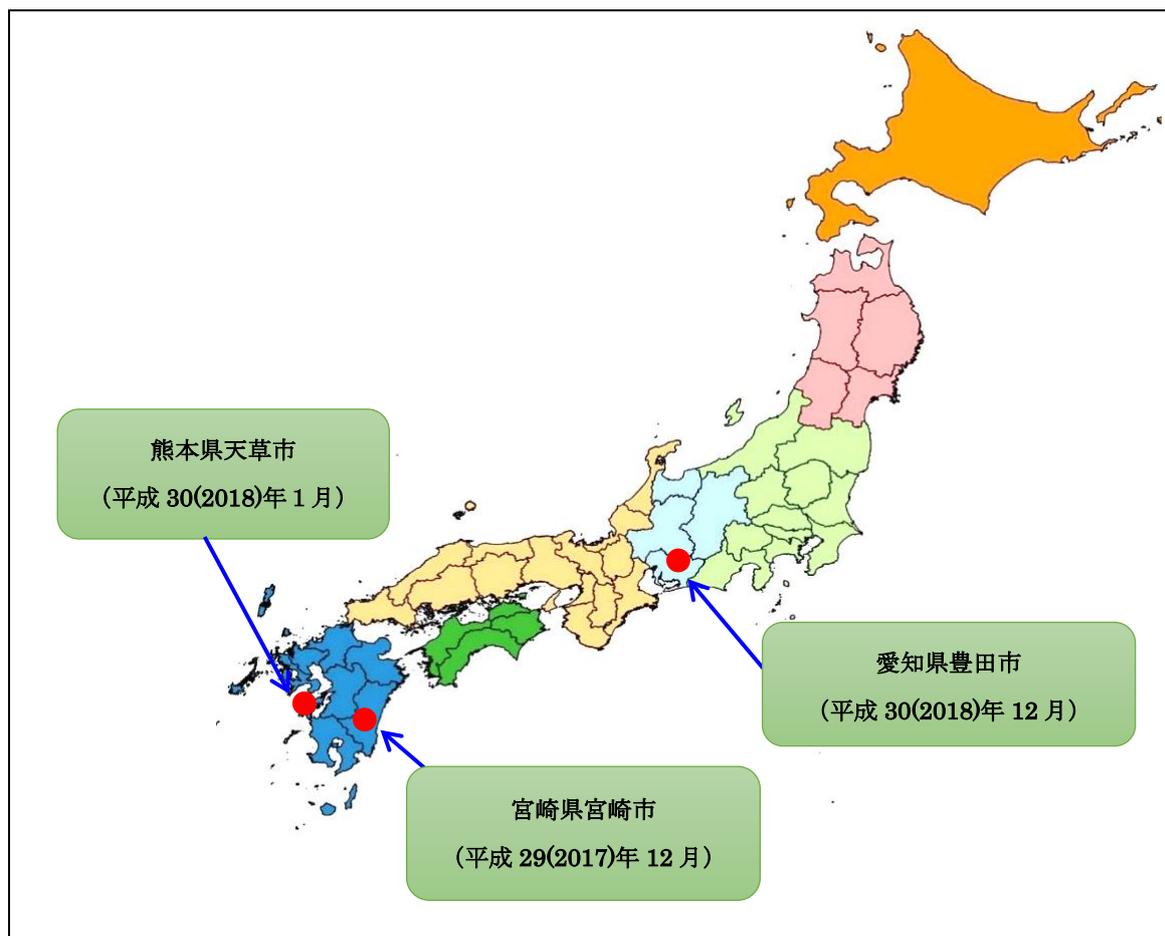


図 3-1 平成 29 (2017) 年度及び平成 30 (2018) 年度センダン実証植栽地位置
(カッコ内は植栽年月)

(2) 調査項目

① 植栽密度別・植栽立地別の生存率及び成長状況の違い

過年度に植栽した実証植栽地で植栽密度別または植栽立地別に設定した固定プロットにおいて現地調査を行い、根元径及び樹高を計測し、植栽木の状況を記録した。

② 植栽から下刈り及び芽かきまでの作業人工

植栽時、下刈り時及び芽かき時に作業時間を記録し、植栽密度による作業人工数の違いを調査した。なお、下刈りは苗齢の違いによるコストの違いを確実に把握するため、全刈りとした。

③ 地拵えから下刈り及び芽かきまでのコスト

地拵えから下刈り及び芽かきまで、実際にかかったコストを植栽密度ごとにまとめ、植栽密度によるコストの違いを調査した。なお、植栽、下刈り及び芽かきコストは、②の結果を基に苗齢別に按分して算出した。